

令和6年10月10日 発行

国際ロータリー会長 ステファニーA. アーチック 『ロータリーのマジック』

第2570地区ガバナー 五十幡 和彦 『入って良かったロータリー』



会長方針 松岡 昌宏 『想いを紡ぐロータリー』

会長 松岡 昌宏 副会長 岡野 元昭 幹事 鈴木 明子

第2247回例会 10月第1週 10月3日(木)

通常例会 『ガバナー補佐訪問』

司 会 親睦活動委員会 石原 勇介
 点 鐘 会長 松岡 昌宏
 ソング 「君が代」「奉仕の理想」
 唱 和 「四つのテスト」
 ゲスト 島田 敏郎様(富士見) RI第2570地区
 第2グループガバナー補佐
 ビジター 長根 章浩様(富士見) RI第2570地区
 国際大会推進委員
 星野 信吾様 (富士見)
 第2グループIM実行委員長



島田ガバナー補佐 ようこそ新座ロータリークラブへ
ご指導宜しくお願い申し上げます

会長の時間 会長 松岡 昌宏



皆様、こんにちは。いよいよ10月に入りました。朝晩も漸く秋らしい陽気になってまいりました。今月は年間行事の中でも最も大切な補佐訪問と公式訪問を控えております。皆様のより一層のご協力をお願いしたいと思います。

本日お越し頂きました第2グループガバナー補

佐 島田敏郎様は、富士見クラブの所属でいらっしゃいます。富士見ロータリークラブも本年度50周年式典を控えており、ガバナー輩出クラブでもあり色々な面でご指導を頂きたいと思っております。第二グループでは「ロータリーの基本に返ろう」をスローガンにしております。ロータリーの基本とは何か。それは「友情」であると島田ガバナー補佐はおっしゃっておられます。会員相互の親睦を一番に考える新座クラブの考え方も合致すると思われま。四つのテストにもあるとおり「厚意と友情を深める」事が、お互いを高め合うことに繋がり、それぞれの生業の繁栄、しいてはロータリーの奉仕活動にも勢いを与えるのではないかと考える次第です。お互いにWIN・WINになる関係性を築くことが出来るのがロータリークラブという組織だと思っております。

これからもロータリークラブを益々盛り上げていけるよう努力してゆきたいと思います。

第2570地区の五十幡ガバナーは「入って良かったロータリー」をテーマに掲げております。その中でも特に会員増強に力を入れておられ、地区組織の中にも会員増強委員会を立ち上げるほどの勢いです。先日の例会にも、入会候補者の方々にいらして頂きましたが皆様のホスピタリティーに感謝申しあげます。例会の雰囲気を感じ取って頂き、仲間に加わりたいと思って頂けるよう私もフォローしてゆきたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申しあげます。

最後になりますが、島田ガバナー補佐、本日は一日宜しくお願い申しあげます。

懇親会：19時～

会場：立教大学 新座キャンパス

- 1、第2グループ第2回会長幹事会議事録及び収支報告書
- 1、西那須野RCより年度計画書拝受
- 1、志木ロータリークラブより会報拝受

ご挨拶



長根章浩様 地区
国際大会推進委員



星野信吾様第2グループ
IM実行委員長

幹事報告 幹事 鈴木 明子



- 1、10月のRIレート 1ドル=142円
- 1、地区事務所より4件受信
 - 1) 地区大会の案内
大会1日目
日時：11月23日(土) 本会議点鐘:14時～
会場：熊谷スポーツホテル PARK WIN
大会2日目
日時：11月24日(日)開会点鐘：13時～
会場：行田産業文化会館 (ベルプラス)
記念講演：尾身 茂氏
「ポリオ根絶 これまで これから」
 - 2) 地区大会各種表彰報告依頼
 - 3) 10月「地域社会の経済発展月間」リソース
 - 4) 地区大会決議 (案)
- 1、令和6年赤い羽根共同募金運動協力をお願い
- 1、立教学園より地元関係者との懇親会開催案内
日時：11月7日(木)講演会：18時15分～

今月のお祝い



お誕生日おめでとうございます

- 会員誕生日：鈴木明子・神谷稔 各会員
伴侶誕生日：増渕和夫・山腰拓実・土屋俊弘
各会員夫人
結婚記念月：石原勇介会員

委員会報告



米山奨学・R財団委員会 委員 村上 俊之

米山寄付金・R財団寄付金ご協力のお願い

10月は米山月間。11月はR財団月間です。
会員の皆様の善意の寄付金をお願い申し上げます

米 山寄付金：10,000円

R財団寄付金：100ドル（10月は14,200円）

スマイル報告

親睦活動委員会

委員 山腰 拓実



長根 彰浩様（富士見） 今日にはよろしくお願
いします。

星野 信吾様（富士見） 今日には宜しくお願
いします。

松岡 昌宏会員 島田ガバナー補佐、本日はご指
導宜しくお願いします。

鈴木 明子会員 島田ガバナー補佐、ようこそ新
座クラブへお越し下さいました。本日はよろしく
お願い致します。

岡本比呂志会員 島田ガバナー補佐、ようこそ。
よろしくお願い致します。

森田 輝雄会員 島田ガバナー補佐、よろしくお
願いします。

小泉 哲也会員 島田ガバナー補佐、本日はご指
導の程よろしくお願い申し上げます。

細沼 直泰会員 島田ガバナー補佐、ようこそ新
座へ

野田 美貴会員 今日も 一日 元気に！

神谷 稔 会員・岡野 元昭会員・宮川 勝平会員

増渕 和夫会員・神谷 浩一会員・龍山 利道会員

石原 勇介会員・森 克巳会員・村上 俊之会員

山越 拓実会員 『島田ガバナー補佐、長根彰浩
様、星野信吾様ようこそ新座クラブへお越し下さ
いました。ご指導宜しくお願い致します』

「今年度活動方針とロータリー行動計画について」



みなさんこんにちは

今年度第二グループのガバナー補佐を仰せつかりました、富士見クラブの島田敏郎と申します。本日は今年度5か所目のガバナー補佐訪問となりました。何卒よろしくお願いいたします。

本日は、今年度の活動方針、ロータリー行動計画、ガバナー公式訪問についてお話を致します。

1. 今年度活動方針について

(1) 「入って良かったロータリー」

みなさまご存知のとおり、今年度の当地区の地区活動方針は、「入って良かったロータリー」でございます。非常に覚えやすく、そしてわかりやすい、素晴らしいテーマですが、このテーマについて、本日は少し掘り下げて考えてみたいと思います。

まず「入って良かったロータリー」と思っ
てほしいのは誰なのか。

これは言うまでもありませんが、所属する皆様もつと
言えば、現会員と、新しく入会してこられた新会員、どちらにとっても「よ
かった」と思ってもらえるような魅力あふれるロータリーにしましょ
うということです。

では、どのようにしたら、全員にとって「入っ
て良かった」と思えるロータリーになるのか。それを考えるためにはまず、皆
様が「ロータリーに入って良かった」と思った瞬間がいつなのか、考
えていただく必要があります。

きっかけはさまざまでしょうが、ロータリーに入会し、今日この日まで
会員でいらっしやるのには、やはりロータリーに「入って良かった」と思
う瞬間があったからこそではないでしょうか。

私もこのテーマをうかがった際、ロータリーに

入って良かったと感じる瞬間はいつだろうかと考えました。

この23年間でそういった瞬間にたくさん出会ってまいりましたが、やはり一番はロータリーでしか得られない、人と人とのつながりを感じた瞬間であると思っています。

わたくしは平成21年から7年間、地区役員を務めさせていただいたのですが、その間、クラブの垣根を越えてたくさんの方と出会い、そのご縁がきっかけで、合同例会や合同のゴルフコンペ等を開催することができました。

また、富士見クラブは富山県の南砺クラブと友好クラブを締結しているのですが、これもロータリーらしいご縁がきっかけでした。以前、富士見クラブではフランスから青少年交換留学生の女の子をお預かりしたのですが、彼女のお母様は日本人で、フランス国内で日本語通訳のお仕事をされており、南砺クラブが友好交流活動として同じ地名であるフランスナント市のロータリークラブクラブを訪問した際にも現地で通訳をされたそうです。そのご縁がきっかけとなり、富士見クラブでは親睦旅行を兼ねて南砺市を訪問し、南砺クラブの皆様と夜間例会をご一緒させていただき、平成30年に友好クラブを締結いたしました。

このように、いち経営者として業界に身を置いているだけでは出会えなかったであろう方々と、時に酒を交えながら様々な話題に花を咲かせることができるのもロータリーに入ったからこそできることであり、この歳になっても自分の知らなかった世界を知るきっかけをたくさんいただけることは、普段の生活においても励みになっていると感じています。

ロータリーが人と人とのつながりを大切にする組織であることは、ロータリーの創設者であるポールハリスの時代から変わらない、ロータリーの精神であると思います。

ポールハリスが日本を訪れた際、日本ロータリアンに「なぜロータリーを作ったのか」と尋ねられ、「さびしかったから」と答えたというのは非常に有名で印象的なお話です。

また、スライドにあるように「ロータリーの理想と友愛」という著書では「ロータリーによって

実現された職業上の裨益は兎も角も、すべての会員が実現し得た利益は友誼であった」と述べられています。このことから、ロータリーが人と人との繋がり、すなわち友情を大切にする組織であることは最初からずっと変わらないことであり、現在においても私たちをロータリアンたらしめる魅力となっていることは大変誇らしいことであると感じています。

では、皆様はいつ、どのような瞬間にロータリーに入って良かったと感じていらっしゃるのでしょうか。

自分自身がロータリーに入ってよかったと感じる瞬間について考えることは、ロータリーの魅力を再確認することにつながります。ロータリーの魅力を再確認することで、なぜロータリーに入ろうと思ったのか、そして今日までロータリアンでありつづけているのかを改めて考えることができ、日々のロータリーの活動もより充実したものにすることができます。そして、ロータリアンがロータリーの活動を充実した様子で楽しみ、その魅力を伝えていくことは、新たな関心を引き寄せ、会員増強につなげることができます。

それだけではなく、新たに会員になった方々へロータリーの魅力を伝え、同じようにロータリーを楽しんで頂くことで、ロータリーの活動はより活気にあふれ充実したものになっていきます。

この循環は、やはりロータリーの魅力を再確認し、きちんと人に伝えられるかたちで各個人が認識していなければ始まりません。

もう一度お伺いします。皆様にとって、ロータリーに「入って良かった」と感じる瞬間はいつでしょうか。是非立ち止まって考えてみて下さい。

後ほどまたお話いたしますが、みなさまのロータリーに「入って良かった」と感じる瞬間については、ガバナー訪問のクラブ協議会にて発表して頂くことになっておりますので、よろしく願いいたします。

(2) 「ロータリーの基本に返ろう」

さて、続いて第二グループの今年度のスローガンについてお話させていただきます。

今年度は、「ロータリーの基本に返ろう」ということを掲げてまいりたいと思います。

このテーマは、実は2022-2023年度にわたくしが富士見クラブ会長を務めていた際に掲げていたものと同じです。

ここでいうロータリーの基本とは、「友情」であるとわたくしは考えています。

先ほども申し上げた通り、ロータリーは1905年、孤独な職業人であったポールハリスが、その寂しさを埋めるために他の職業人たちと会合をひらいたことが始まりでした。そして100年以上にわたり、ロータリーは会員全員に友情という財産を与えつづけています。

現在、私たち第二グループが抱えている最大の課題は会員減少です。この課題を乗り越え、グループを元気にしていくためには、現会員の皆様にとって楽しく魅力あふれるロータリーであり続けなければなりません。

私自身、地区役員を経験し、他クラブの方々と交流ができるようになって以降、ロータリーの楽しさが数段増したというふうに感じています。

ぜひ、クラブの垣根を越えて、まずは第二グループ内から交流を活性化させていきましょう。

そして、例会を欠席した会員だけではなく、皆様にも積極的なメーキャップの活用を呼びかけたいと思います。第二グループでは、月曜から金曜まで例会日が分かれており平日ほぼ毎日どこかで例会が開催されています。ぜひ、他クラブの例会に参加し、たくさんの方との交流を楽しんでください。そして、受け入れるクラブ側も、いつ、だれが来ても温かく迎え入れる体制づくりに努めていただきたいと思います。

ロータリーの基本に戻り、会員同士の友情を深めることで、第二グループから2570地区を元気にしていきましょう。

(3) ガバナーからのお願い

では次に、ガバナーからのお願い事項についてお話します。

まず一つ目はマイロータリーへの登録です。こちらについては皆様お持ちのパソコンもしくはスマートフォンで登録をして頂き、各クラブの登録率を70%以上として頂くようお願いいたします。

二つ目は、ロータリー・クラブセントラルへの目標設定です。こちらについては、各クラブの目

標入力率を100%、つまりどのクラブも必ず入力をして頂きます。目標の内容については、ロータリー行動計画の4つの優先事項が基準となります。この、4つの優先事項については、このあとお話をさせていただきます。皆様、ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

2. ロータリー行動計画について

では次に、ロータリー行動計画の「4つの優先事項」についてお話します。

国際ロータリーでは、3年計画で4つの優先事項のもと、各クラブで目標達成に向けて取り組んでいくことを推奨しています。

当地区では、8月10日にクラブ行動計画推進セミナーが開催され、各クラブ1名、6月に推薦されたクラブ行動計画推進者の方にご出席頂き、この4つの優先事項についてより理解を深めて頂きました。

この4つの優先事項は、RI戦略計画委員会が、人々が訴え続けてきたロータリーのコンセプトは何かを調べるため、全世界のロータリアンにインタビューやアンケート調査を行い、得られた100万件を超えるデータの中から、ロータリーがより素晴らしい未来へ進むために重要な4つの事項を抽出したものです。順番に読み上げますと、

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的なかわりを促す
- ・適応力を高める

と書かれています。

これを読み上げただけではなかなか想像がつきにくいかと思いますので、一つずつお話していきたいと思います。

1) 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する
- ・ロータリーのプログラム及びロータリーが提供する体験に焦点をあてる
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

★ロータリーの活動、とりわけ奉仕活動をブランド化しましょうという事です。

2) 「参加者の基盤を広げる」

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ・ロータリー参加の新しい道筋を創り出す

- ・ロータリーの開放性とアピール力を高める
- ・インパクトとブランド化に対する認知を築く

従来のような会員増強とは異なる点はただ人数を増やす事をうたっているのではなく「基盤を広げる」とされているところです。これはすなわちDEI、多様性、公平性、インクルージョンを推進し、ロータリーの門を広く開け放ちましょう。

3) 「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援
 - ・価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
 - ・個人的・職業的な繋がりを築く機会を提供する
 - ・リーダーシップ育成・スキル研修の機会を提供
- 会員維持を重視するものとなっている。ロータリーに入会してきた新規会員の方々がロータリーに求めるものは何か。ロータリーに長年在籍している方がこれからもロータリーを楽しむために必要なものはなにか。さまざまなきっかけでロータリーに関わっている皆様全員により素晴らしいロータリーライフを送っていただくためには、ロータリーの活動に対するモチベーションを維持させ続けるよう会員のケアをする事が大切です。

4) 「を適応力高める」

- ・研究と革新及びリスクをいとわない文化を築く
- ・ガバナンス、構築、プロセスを合理化する
- ・意思決定におけるより多様な視点を助長するために、ガバナンスを見直す

コロナ禍以降、世界は急速に変化しているように感じられます。このような変化の時代に適応していくためには、地域社会がロータリーに求めるものは何か、それぞれのクラブが模索を続けなければなりません。そして新たなアイデアを実行するためには資金を確保しておくことも必要であるということです。

5) まとめ

ロータリー行動計画の4つの優先事項お話をして参りました。私の個人的な考えですが、まず、ロータリーの活動がより大きなインパクトをもって世の中に知れ渡る事で、より多くの人々の興味・関心をひき、参加者の基盤を広げる事に繋がります。そして参加者の基盤を広げたら次に大切にな

るのが、参加者を楽しませる為に参加者の声に耳を傾け、参加者の積極的な関わりを促す事です。そして、参加者というのは、ロータリーの現会員だけではなく、ロータリーに関わるすべての人を意味しています。多くの参加者の声に耳を傾け実行していく為には、適応力を高めなければなりません。そして、高い適応力により私たちはより時代に即した、より大きなインパクトをもたらすことができるのです。

3. ガバナー公式訪問について

最後にガバナー公式訪問のお知らせです。

新座クラブは、10月10日に五十幡ガバナーによる公式訪問が予定されております。

内容は、ガバナーによる卓話の後、クラブ協議会にて、皆様がロータリーに入って良かったと思う瞬間について、一人ずつ発表をして頂きます。ぜひ、ご自身のロータリーライフを振り返って頂き、ロータリーの魅力を再確認して頂ければと思います。

本日はガバナー補佐訪問ということで、今年度の活動方針やロータリーの行動計画についてお話させていただきました。特に行動計画の4つの優先事項については、抽象的な表現が多くなかなか想像しづらい部分もあるかと思えます。

簡単に言ってしまうと、ロータリーの活動をより魅力あふれるものとして世の中に広げ、よりたくさんの人を巻き込み、そして時代とともにアップデートさせていこうということです。しかし、繰り返しになりますが、時代がどんなに変化したとしても、変わらないロータリーの魅力もあります。それはロータリーが友情を大切にする組織であるということです。このロータリーの基本を活かしつつ、4つの優先事項に従って当地区を盛り上げていきたいと思えます。

そして、2570地区全員で「入って良かった」と心から思える一年にしていきたいと思います。一年間、どうぞ宜しくお願い致します。一部抜粋

新座ロータリークラブ事務局

〒352-0001 新座市東北2-25-11-406

電話 048(473)7041

FAX 048(473)9221

Eメール niiza.rc@dance.ocn.ne.jp